

地理・歴史科

教科名	地理・歴史科	科目名	地理A
科目の目標	1. 現代世界の地理的な諸課題を地域性をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。 2. 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	東京書籍「地理A」	副教材等	なし

①学習の目標

- (1) 現代社会の地理的事象を系統的・地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
 (2) 地理的な見方・考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

②学習内容と授業の進め方

第1編 現代世界の特徴と動向

地球儀や地図から世界をとらえ、地球的な結びつきについて考える。

第2編 世界の生活・文化の多様性

地球上における自然環境・社会環境について考え、各国の文化・生活について理解を深め、課題を考

第3編 深刻化する地球的課題とその解決策

国際社会が直面する様々な課題を学び、日本の果たすべき役割や日本人の責務を考える。

第4編 身近な地域と地理的課題

身近な地域と地図を活用し、日本における自然・災害等の課題について考える。

③学習に当たっての留意点

- (1) 基本的な地理用語を理解させると同時に、政治経済や世界史・日本史などの内容にも関連させ、横断的な見方・考え方を身につけさせることを心掛ける。
 (2) 世界の諸地域の生活や文化に対して正しい理解をすると同時に、直面しているさまざまな課題を地理の学習を通じて明らかにするために、内容を精選して授業を実施する。
 (3) 現実の世界を知る手だてとしてデジタル地図やビデオ教材を使う。また、必要に応じて外部講師を招いて現地のお話を聞く。
 (4) 東日本大震災を教材化し、災害の教訓に学び、各種災害の性格とその危険性を知り、災害時にとるべき行動を知識として身につけさせる。

④評価の観点

- (1) 関心・意欲・態度
【関】 地理の楽しさを味わうことができるよう、自ら進んで計画的・意欲的に学習しようとする。
 (2) 思考・判断
【思】 世界の自然環境などを位置や空間的な広がりに着目して地理的事象を見だし、考察することができる。
 (3) 知識・理解
【知】 現代世界の特質を地球規模で理解し、その知識を身につけている。
 (4) 資料活用の技能・表現
【資】 学習に必要な資料を収集して、役立つ情報を適切にまとめることができる。

⑤評価の方法

定期テスト・提出物、日常の授業への関心・意欲・態度とあわせて総合的に判断する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	第1編 現代世界の特徴と動向	第1章 地球儀や地図からとらえる世界 第2章 結びつく現代世界	・世界の自然環境・生活文化に対して、課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】 ・世界の自然環境などを世界的視野から地域的な相違点・分布に着目し、追求しているか。【思】
12		第2編 世界の生活・文化の多様性 第3編 深刻化する地球的課題とその解決策 第4編 身近な地域と地理的課題	第1章 世界的視野から見た自然環境と文化 第2章 諸地域の生活・文化と環境 第1章 地図で読み解く地球的課題 第2章 さまざまな地球的課題 第3章 持続可能な社会の実現を目指して 第1章 身近な地域と地図 第2章 自然環境と防災 第3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査
			・世界の自然環境などに関して、多様性や地域性をとらえる視点や方法を理解し、その知識を身につけているか。【知】 ・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】 ・変容する現代世界の諸地域に対して、関心と課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】 ・諸地域の環境条件、他地域との結びつき、地域に生きる人々の営みなどを多面的・多角的に考察しているか。【思】 ・事例として取り上げた地域・国・州・大陸の地域の特色を理解しているか。【知】 ・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】